

ひまわり

もくじ

- 2 情勢 ~ 今こそ大事にしたい社会に向き合う実践 ~
- 3 きょうさんん全国大会inひょうごの報告
- 4・5 ハートフェスタ2015のお礼
- 6 萬田要町民運動会に参加してきました!・時・二寄付



2015
NOV

かめおか作業所1泊旅行

社会福祉法人 亀岡福祉会

法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市蔭田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

H P ht tp://www.kamecomyu.net/

今こそ大事にしたい 社会に向き合う実践

市原 初美

HATSUMI ICHIHARA

第二かめおか作業所
所長

世代を超えて響き合う 平和への思い

10月某日のニュースは、安全保障関連法の廃案を訴える国会前の集会を映し出していました。若い人たちのシルズが声を上げ続けていることは広く知られてるところですが、この日は少しお年を召した方々も一緒にシユプレヒコールを上げる姿が印象的でした。「戦争をしない、平和な国・社会でこそ、私たちは生きたい」。世代を超えて響き合う平和への思いとできることを今アクションしようとする人々の姿です。にもかかわらず、これほど多くの声を聞こうとしない人がこの国の中心にいるこの不思議。どう考えても解せません。この報道から遠くない日のニュースでは、原子力空母ロナルド・レーガンとやりに乗り込みみ満悦の表情の彼を映し出していました。本当にこの国は何に向かっているのでしょうか。恐ろしい現実です。

社会保障の充実?

一方で、第3次安倍内閣は、新三本の矢なるものも打ち出しました。社会保障の充実を高らかに掲げています。全てについてですが丁寧に内実を検証していく

必要があると思いますが、中でもやはり気になるのは「安心につながる社会保障」介護離職ゼロ」についてです。亀岡福祉会でも歴史を重ねる中で障害のある人たち本人の高齢化がめまぐるしく進んでいます。当然のことながら家族の高齢化はいっそう深刻です。この高齢化社会の環境整備には相当エネルギーシユな政策と財政保障が必要ですが、具体的には何がなされようとしているのか残念ながら見えて来ません。介護が必要になった人も介護する人たちも安心してくらせる社会にすべきだと思えます。ぜひとも期待を裏切らない政策が打ち出されることを願います。

ハートフェスタでの メンバーの願い

亀岡福祉会では他事業所と共催で「ハートフェスタ」と銘打つイベントを開催し続けてきました。今回は大きく『平和』をテーマにし10月4日に開催。この平和を学ぶ取り組みの中で肢体障害のあるメンバーが「今、もし戦争をやったら今までの最低な総理です。安倍さんの家族もあぶないでしょう。日本憲法を守れ。日本の幸せを簡単に奪つな。」(本文より一部抜粋)と綴り、訴えました。この心からの訴えを胸に刻み、全国の仲

間と一緒に声を上げていかなばならないと思えます。

亀岡福祉会後半期の実践

前述のハートフェスタをはじめイベント真つ盛りの秋ですが、2015年度実践は早くも後半期に突入しています。戦後、震災、そして政局も含めた節目の年にあたりさまざまな場面で平和なればこそを強く学んだ前半期でした。9月初旬の亀岡福祉会中間まとめではメンバーひとり一人の生き生きとした働く姿、活動する笑顔が報告され、7年ぶりのグループホーム開設という嬉しい事業展開もできました。改めて平和なればこそ学び合いい語り合い、地域とつながり合いながらできる実践であると実感しています。後半期も豊かな実践をいっそう深めるためにも、平和を守るアクションを継続していきたいと思えます。さらには一昨年から継続している「亀岡の未来をつなぐ地域協議会」のいっそうの充実に取り組み、この身近な地域社会の豊かな発展のありかたを考え、地域のみなさんとの相互理解の輪を広め、強くつながりあえる亀岡福祉会を目指していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

きょうされん第38回全国大会inひょうご (10/9~10)に亀岡福祉会から39人が参加

今回の大会には障害当事者800人を含む2500人が参加。亀岡福祉会からも利用者11人をはじめ、家族、職員あわせて39人が参加しました。

利用者が主役の大会

利用者が主役となれる大会に全体会の進行など多くの企画でさまざまな障害のある人たちが活躍したのが大会の特徴でした。

亀岡福祉会の利用者たちも2日間、全国大会ならではの企画にはつらつとした姿を見せていました。全体ステージ企画では、阪神淡路大震災の生々しい様子、全国からの支援、作業所の復興への道のり、東日本大震災被災地へのエールなどが利用者と職員による構成詩で表現されました。身を乗り出すように聴き入る利用者が多数見られました。

音楽イベントも多彩に行われ、出演者と各地の利用者がステージ上で一体になって盛り上がりました。亀岡福祉会の利用者もその中に入り、「ステージ上がったで!!」と興奮した声で話したり出演者と握手したりする姿もありました。

15に分かれた分科会には利用者分科会もありました。質問に答えるのも、意見をまとめるのも利用者たちです。日頃の作業所や自分のことを自由な言葉で話していました。

全国の人とたちまち知り合いに

夜の大交流会はさながら大物タレントの結婚披露宴を思わせる雰囲気でした。ホテルの料理を楽しみながら、同じテーブルの人や近くのテーブルの人たちと活発な名刺交換をしていました。北海道、新潟、三重……。名刺には自己PRが書いてあって、そこから話が盛り上がっていきました。

2日目の観光コースに参加した利用者は神戸港のクルージング、南京町中華街での食事などで、ボランティアさんと親しくなり、他県の人たちとはおしゃべりしながらの昼食を楽しみました。

平和な社会の実現

時代の節目の大会にふさわしく復興と平和が大いに語られた全国大会でした。

閉会全体会では利用者実行委員会のメンバーが、一つひとつの文言に思いと力を込め、大会アピールを提案しました。拳を握りしめ涙ながらに提案する姿が参加者の共感を呼びました。

「わたしたちは何よりも平和な社会をつくるため、そして憲法25条に保障された生存権を守るために、多くのおみなさんと連帯しながら全力を尽くすことを表明します」との大会アピール案は満場の拍手で採択されました。

阪神淡路大震災20年、東日本大震災5年目、戦後70年
「とどけたい20年のありがとう わすれない震災を
伝えよう私たちの今を 未来につなぐ権利条約と平和」



2500人以上が集まった全体会場

「意志決定とその支援」分科会。障害のある人もない人も一緒に考え合いました



ミュージシャンがどこにいるのかわからないほどに盛り上がったステージ



亀岡福祉会参加者の声

- ・地震のどこ行った。怖かった。地震のこと覚えとる (野島断層保存館を訪れた利用者)
- ・重い病気の利用者に医療的なケアをしている事業所の支援には驚いた。娘の通う事業所とは違いがあるし夢のような話に思えるけれども、利用者の実態に合わせてやっていく大切さを考えさせられました (家族)
- ・一人ひとりの力をしっかりとらえて伸ばし、それを自分の仕事として実感できるような仕事づくりをしていくことが大事だと思いました (家族)
- ・初めて参加しました。会場に入って、人の多さに鳥肌が立ちました。みんな自分の目標に向かって歩いていっている姿がキラキラと輝いていました (職員)

ご来場ありがとうございました!

『新しい出会いと 笑顔がまっついている』をテーマに開催したハートフェスタ2015にご来場いただきましたみなさま、どうもありがとうございました。会場ですてきな笑顔に出会えましたか?

開催当日の10月4日は、晴天に恵まれ、およそ2000名のお客様にご来場いただき、楽しい時間を共に作る事が出来ました。

今回開催するにあたり、ご来場頂きましたご来賓の皆様、ボランティアの皆様、御協賛いただきました団体個人の皆様方をはじめ多くのご協力をいただきましたこと、心よりお礼を申し上げます。

今年度は戦後70年、また大規模震災から5年、20年の節目をむかえ、改めて平和について、震災についてをテーマに、それらを通して「障害のある人たちが分け隔てなく、地域社会で市民としてあたりまえにくらす」ことを目指し、開催して参りました。

元をたどれば30回以上を数え、地域に広がり3法人主催となり、5年となる今、新たに「株式会社みんなではたらく」を迎え、4事業所主催のもと、障害のある人の声を地域に広く発信して参りました。

今回広報では初となるフェイスブックや、チラシ・ポスターにこだわり、宣伝先も増やし、「知ってもらい、来て頂くこと」を大切にしてきました。また、ご協賛頂いた団体様も増え、広がっていく地域とのつながりを実感しております。

また当日会場では、構成詩・ステージ・ふれあい広場・仲間の店・東北物産店・バザー・模擬店など様々な企画が連動し、今年のテーマについて「会場全体で伝えていく」場を作って参りました。



会場には各事業所の紹介と震災の現状について展示されました。



開幕太鼓で力強くスタートしました



京炎そでふれ! 踊り普及チームのみなさんの笑顔あふれるステージも披露されました。



最後はきたがわてつさんとみんなですていじにあがり『そんな町を』を大合唱しました



各事業所が歌や踊りを発表し盛り上がりました!

ハートフェスタ 2015



メンバーの夢や願いが書かれた「願い葉」を集めて飾りました。

構成詩では平和のメッセージとして、戦時中を生き抜いた仲間の生の声や、手紙を紹介しました。ステージではきたがわてつさんにお越し頂き平和の歌を、展示では東日本大震災から5年の現状や戦後の福祉制度の移り変わりについてふれました。ふれあい広場では近隣の保育所より先生をお招きし、「平和がテーマの絵本」を読み聞かせるブースを作り、あわせて平和への願いや思いをお客様と一緒に書いていくコーナーを併設しました。

こうした取り組みをとおり、この地域にながりが広がり、私たちの声が届き、一緒に楽しい時間を過ごす事が出来ました。また今年度サブタイトルにもありますように「新しい出会いと笑顔」を大切にして参りました。楽しい時間を共に過ごした「顔見知り」の輪が、やがては「誰もが安心して住める町」を実現させていくことに繋がると信じ、来年もまた皆様にお会い出来ることを楽しみにしております。



段ボールハウスや輪投げ、ミニSLなどこどもも楽しめるコーナーがいっぱい



笑顔がいっぱい

ご来場いただいた方々の感想

いろんな作業所の人が出て
楽しくお話ができました。

バザーが安くて、孫の遊べる場所があったのでよかったです。

こどもも楽しめて
よかったです。

いろんな人に出会えるのがうれしいです！

みなさん一生懸命なので
気持ちがいいです！

稗田野町民運動会に参加してきました!

2015年10月4日、ハートフェスタと同じ日にかめおか作業所のある稗田野町の町民運動会があり、代表のメンバーが参加してきました。

今年がちょうど30回目の運動会。会場には大勢の町民の方が参加され、かめまる君の登場もあり、大盛り上がりの運動会でした。メンバーは障害物競走やざる引き競争、メルシングボール、大縄とびなどの競技に出場しました。大縄飛びでは、みんなの息を合わせ、これまでにない優秀な成績を収めました。

稗田野町の皆さんと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



1日の始めとして、朝は気持ちよくスタートしてほしい、そんな気持ちで送り出していますが、自分に余裕がない時や子ども用の用意ができていないと、つい子どもにきつい口調であたってしまふのが正直な所です。そんな姿を続けていることで、子ども自身、親の顔色を伺って行動したり、怒られるから行動したりという悪循環を招いてしまいます。子どもは褒めて育てるとい言葉をよく耳にします。本当にその通りだと思えます。

誰しも、注意されたいなんて思っています。身近な大人、親に褒めてもらうことにより、「ちゃんと私のことを見てくれてるんだ」と安心がきます。それがまた自信へとつながっていき大人になっていく一つの材料になります。そのためにもまずは自分に余裕と笑顔を持ち、家族に気持ちの良いスタートをきるお手伝いができるようにしていきたいです。

みなさんは今日、気持ちの良いスタートがおくれましたか?

(H)

時

朝の1分、1秒って本当にあつという間に過ぎてしまいますよね。我が家もそんな毎日です。どの方も思っていること、それは朝の気持ちのよい送り出し、送ってもらえる、そんな光景ではないでしょうか? 実際、私も二児の母ですが理想とは違います。自分のペースと子どもとのペースの違いがあるからついつい口が出てしまふんですね...

ご寄付 9月/10月

9/3 藤村 様 野菜

9/28 株式会社 橋本 様 お菓子

ご寄付ありがとうございました。